

第2回三菱重工ビジネスパートナー会議を開催

競争を勝ち抜く企業体質を目指して

昨年11月20日、「第2回三菱重工ビジネスパートナー会議」が東京都内で開催された。これは、各製品事業で素材、機器装置、サービスなどを供給する主要ビジネスパートナー282社の出席を得て開かれたもので、当社の事業計画や重点施策、さらには調達方針などを当社首脳陣から直接伝え、パートナーとの信頼・共存関係を一層強化していくことを目的としたもの。

本会議では、大宮社長が「製造業の新たな挑戦～経済危機を越えて～」と題して講演し、「ものづくりを生業とする当社は、パートナーとの重層的な対話を通じて一層の連携強化を図るとともに、バリューチェーン全体を俯瞰する経営プロセス改革を断行し、グローバル市場での持続的成長を目指す」と強調、ビジネスパートナーの一層の理解と支援を要請した。

一昨年前の第1回会議で、パートナーとの連携強化による強固なサプライチェーン構築を目指す新たな



今回は主要282社を招いて開催されたビジネスパートナー会議

な調達方針を宣言し、パートナー視点から改善点を見いだす“ビジネスパートナー活動”を全社で推進中だが、これまでの活動で顕著な成果のあった13社のパートナーに感謝状を贈呈、うち3社のパートナーから具体的な改善活動の事例を紹介いただいた。

当社は今後も、パートナーとともに生産革新活動に取り組み、厳しいグローバル競争に勝ち抜く俊敏で強靱な企業体質を目指していく。

ハルビンボイラ有限責任公司 王社長がご来所

協業関係を強化・発展へ

昨年11月24日、中国ハルビンボイラ有限責任公司(HBC)の王社長一行が来所された。長船は同社と超臨界圧ボイラ、脱硝装置の技術供与契約を結び、同社は長船の技術を導入し中国国内に数多くのボイラを納入している。王社長一行は、相馬所長、栗原副所長をはじめとする長船幹部と友好を深めるとともに、ボイラ工場を視察された。今まで同社と長船間では定期的に幹部間で深く交流を行ってきたが、相馬所長から事務レベルでの交流についてもさらに盛んに行いたい旨を伝え、王社長から快諾を得



長船を訪れたHBC王社長一行
(前列中央が王社長)

た。今後も、長船は引き続き同社との協業関係を強化・発展させていく方針である。

東電川崎2号系列1軸(50万KW)先行工事が着工

無事故・無災害を願って安全祈願

昨年12月1日、川崎火力発電所第2号系列1軸主要発電設備(出力50万kW)の現地先行工事が着工した。今回は主要発電設備共同企業体(当社・三菱電機)を三菱JVとした体制のもと、高製がガスタービンと蒸気タービン、長船が排熱回収ボイラ(HRSG)、三菱電機が発電機を供給する契約。

12月8日、若宮八幡宮神社で、東京電力(株)川崎火力建設所 高野所長をはじめとする工事関係者が安全祈願祭を執り行い工事の無事故・無災害を祈願した。

現在、HRSG支持鉄骨台板設定工事・ガスタービン排気ダクト支持鉄骨台板設定工事、HRSG廻り埋



安全祈願祭に参加した関係者(前列右から4人目が東電高野所長)

設配管設置工事など順調に行なっている。

今後は、先行工事を無事故・無災害で乗り切り、本工事へ引き継いで行く事を目標に、現地関係者一同決意を新たにした。